

令和3年第9回教育委員会定例会  
(5月11日開会)

台東区教育委員会

○日 時 令和3年5月11日（火）午後2時00分から午後2時30分

○場 所 台東区役所 6階 教育委員会室

○出席者

教 育 長	矢下 薫
教育長職務代理者	末廣 照純
委 員	神田しげみ
委 員	高森 大乘
委 員	垣内恵美子

○出席者

事務局次長	梶 靖彦
庶務課長	佐々木洋人
学務課長	福田 兼一
児童保育課長	横倉 亨
放課後対策担当課長	西山あゆみ
指導課長	瀧田 健二
教育改革担当課長 兼教育支援館長	工藤 哲士
生涯学習課長	久木田太郎
スポーツ振興課長	櫻井 洋二
中央図書館長	田畑 俊典

○日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 指導課

ア 区立学校における教員等の負担軽減のための人員配置について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 令和3年6月の行事予定について

(2) 学務課

イ 令和3年度連合体育大会等の日程について

(3) 教育支援館

ウ 令和3年度教科書展示会について

### 3 その他

午後2時00分 開会

○矢下教育長 ただいまから、令和3年第9回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、高森委員をお願いいたします。

ここで、傍聴について申し上げます。

本日の会議の傍聴を希望する方については、許可することとしておりますので、ご了承ください。

なお、撮影または録音につきましては、所定の手続きを行った場合のみ許可することといたしたいと思っております。

それではまず、審議順序の変更について私から申し上げます。本日の議題、日程第1、教育長報告の協議事項、指導課のアについては、議会報告前の案件であり、傍聴にはなじまないと考えられます。

つきましては、順序を変更して、最後に聴取いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、そのように決定いたしました。

〈日程第1 教育長報告〉

2 報告事項

(1) 庶務課 ア

○矢下教育長 はじめに、日程第1、教育長報告の報告事項を議題といたします。

庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それでは、報告事項庶務課のア、令和3年6月の行事予定につきまして、ご報告いたします。資料2をご覧ください。

6月につきましては、14日月曜日、及び28日月曜日に、教育員会定例会を、それぞれ14時から開催をする予定となっております。ご出席をよろしくお願いいたします。

また、5月27日に予定しておりました、台東区立小学校PTA連合会歓送迎会につきましては、資料記載のとおり、6月22日に延期となっております。時間・場所につきましては、資料に記載のとおりとなっております。教育委員の皆様のご出席及び、高森委員におかれましては、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、6月の行事予定につきましては、以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

よろしいですね。

(なし)

○矢下教育長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承願います。

## (2) 学務課 イ

○矢下教育長 次に、学務課のイについて、学務課長、報告をお願いします。

○学務課長 報告事項のイ、令和3年度、連合体育大会等の日程について、ご報告をいたします。資料3をご覧ください。

小学校は、10月19日の火曜日に、台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場において、第35回台東区立小学校連合運動会を実施する予定です。予備日は10月26日の火曜日となっております。

中学校は9月24日の金曜日に、足立区にございます、都立舎人公園、陸上競技場において、第74回台東区中学校連合陸上競技大会を実施する予定です。今後、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、各事業の実施について、再検討させていただく予定でございます。よろしくお願ひいたします。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

よろしいでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、学務課のイについては、報告どおり了承願ひます。

## (3) 教育支援館 ウ

○矢下教育長

次に、教育支援館のウについて、教育支援館長、報告をお願いします。

○教育支援館長 それでは私から、報告事項ウ、令和3年度教科書展示会についてを説明いたします。資料4をご覧ください。

教科書の展示会は、教科書の発行に関する臨時措置法及び東京都教科書展示会実施要項により実施されるもので、文部科学省の選定により、毎年行う法定展示会と、教科書採択の年に行われる特別展示会がございます。

今年度は、新たに検定を経た中学校用教科書、社会歴史的分野が採択の対象となりましたので、法令、要項等に基づき、特別展示会・法定展示会ともに行います。

項番1でございます。展示する教科書は、令和4年度に使用される小学校用教科書目録及び中学校用教科書目録に登載されている教科書でございます。

項番2でございます。(1)の特別展示会は、6月1日から6月11日まで、日曜日を除く10日間です。また、(2)の法定展示会は6月14日から7月1日までで、日曜日のほか、6月21日月曜日、26日土曜日を除く14日間です。なお、法定展示会・特別展示会とも、展示内容は同一でございます。

項番3の展示時間、項番4の展示場所は記載のとおりです。本展示会の開催につきましては、「広報たいとう」5月20日号及び、区の公式ホームページにおいて周知いたします。

報告は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。  
よろしいでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、教育支援館のウについては、報告どおり了承願います。

### 3 その他

○矢下教育長 その他、何かありますでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、会議の冒頭に申し上げましたとおり、これより議会報告前の案件について、聴取いたしたいと思います。

(傍聴人退室)

#### 〈日程第1 教育長報告〉

##### 1 協議事項

###### (1) 指導課 ア

○矢下教育長 それでは、日程第1、教育長報告の協議事項を議題といたします。

指導課のアについて、指導課長、説明をお願いします。

○指導課長 区立学校における教員等の負担軽減のための人員配置について、ご説明いたします。資料1をご覧ください。

はじめに、目的でございます。区立学校の教員及び副校長の負担軽減を図るため、東京都のモデル事業を活用し、教員等の業務を支援する人員を配置するものでございます。

次に、項番2の概要です。1点目は、クラス・サポート・スタッフの配置です。こちらは新規事業となります。

本事業は教員の負担軽減、またそれに伴う小学校の先生に働きやすさ、魅力向上を目的として、教室での集団生活に定着できていない小学校低学年等、学年単位で特定の1学年に児童に直接関わり、学校生活全般を支援する人材を配置するものでございます。

対象は、区内全小学校でございます。

実施期間は令和3年度から令和5年度までの3年間を予定しております。

配置は1校1名。教員免許は不要で、教職課程を履修する大学生や学校教育に関心のあ  
る地域の方々などを想定しております。

勤務条件は1日6時間月16日勤務の予定です。

東京都が今年度からモデル事業として、新たにスクール・サポート・スタッフ（学校生活支援型）として実施するものです。都内区市町村の希望する地区のうち、2地区程度を東京都が決定するもので、本区がうち1地区に決定されました。報償費等の必要経費は都より交付されます。また、都のモデル事業名は、スクール・サポート・スタッフ（学校生

活支援型)となっておりますが、従来のスクール・サポート・スタッフとは業務内容が異なることから、本区ではこちらの方をクラス・サポート・スタッフと呼称します。

2点目は、副校長補佐の配置です。昨年度に引き続き、追加配置となります。副校長の業務である服務管理・調査対応等の事務の支援により、副校長の負担軽減を図るための人員を配置するものでございます。

対象は資料に記載のとおりで、今年度からの追加配置6校、令和2年度からの継続実施3校の計9校となります。

勤務条件は1日5時間、月16日勤務となります。

こちらも都の学校マネジメント強化モデル事業であり、希望校から都が決定するものでございます。報償等の必要経費は都より交付されます。

資料をおめくりください。項番3、補正予算額(案)でございます。クラス・サポート・スタッフは、歳出額3,170万7,000円で、特定財源2,599万5,000円、うち、都の補助金が、2,523万1,000円となっております。

副校長補佐は、歳出額839万8,000円で、特定財源785万6,000円となっております。次に、今後のスケジュールでございます。令和3年第2回定例会、区民文教委員会に報告し、7月からの配置を予定しております。

説明は以上でございます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いいたします。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○神田委員 大変学校が忙しい中で、このような施策ありがたいことだと思います。

クラス・サポート・スタッフについてですけれども、都内で2地区に選ばれたということでしょうか。そうすると、全部の19校に必ず付くような感じなんでしょうか。

それから、もう一つは、副校長補佐の方なんですけど、今回6校増えて全部で9校ということですけど、これは全部でないです。希望がないのか、それとも希望しても受けられないのか、そのあたりの状況を教えてくださいませんか。

○指導課長 1点目のクラス・サポート・スタッフの地区ですけれども、都は2地区程度を想定しているということの中で、その2地区の中の1地区が、本区が選んでいただいたということと、当初は半分程度の校数の予算をとというようなことを想定していたようですが、2地区の予算規模から、学校の規模から、本区は一応19校に配置いただけるというふうに、都の方から回答がございました。

2点目の副校長補佐については、こちらのほうは、やはり学校が希望して、都のほうに申請をして、その結果6校とも追加配置を認められたというものでございます。希望があったというところで、申請を上げたというものでございます。以上でございます。

○神田委員 人員を確保するのが難しいのか、どのように活用したらいいかというあたりの難しさがあるようです。大変ありがたい制度だと思いますので、積極的に活用して効果を上げていただきたいなと思います。ありがとうございます。

○垣内委員 私もすばらしい制度だと思います。2点ほどお尋ねしたいのは、これから公募をかけていくということですよね。そうすると、年度の途中からということで、どういふ方がこのクラス・サポート・スタッフに応募してくださるのかなというところが、ちょっと懸念があります。最近働き方が随分変わったんですけれども、でも4月に通常勤務を始めてという流れの中で、そうではない形態の方々からしかるべき方を募集していくということだと、どういうあたりを想定されているのか。意外に今、大学生も忙しいので、16日間来るというのも、決まってしまうとなかなか難しいとか、これは当然、対面といいますか、オンラインはないんだろうなというふうには思っているところなんですけど、そのあたりの人員の配置とともに、どういう方々をターゲットに、どういうふうにも働いてもらおうとしているのかというところを教えてくださいたいと思います。これからやるので、今、想定されていることで結構です。

それから二つ目は、この副校長補佐、神田先生もおっしゃいましたけど、すごくいいと思うんですけども、希望されているのが6校だけですか。何か障害があるのでしょうか。人を要らないという組織はあまりないと思うんですけども。副校長補佐を迎えるに当たって、いろいろ準備が手間取るとかそういうことなのか、あるいは、実績が上がっているところもあるけれども、思ったほどのメリットがないと考えられているのかとか、ちょっとそのあたり、どういうふうにも把握されているのかを教えてください。

○指導課長 1点目の人材の想定でございしますが、確かに7月からの配置で、人材確保がどうかというのは、私どもも懸念しているところではあります。既に先月の小学校長会において、今ちょっと見当中ですという状況で、人材の確保という点では、事前に情報提供を校長先生方にしているところでございます。

こちらとして想定しているのは、できれば、確かに教員を目指している方。いわゆる現時点で学生のかたが望ましいのですが、先ほど言ったように勤務条件が合わない可能性がありますので、場合によってなんですけど、お一人ではなく、二人で配置を分けるということも検討されるのかなと思います。それからさらに、定年退職された方で学校教育に学校教育に関心のある方で、フットワークが軽い方がいれば、学校のほうで探していただいているのかなと思います。

あとは、既に配置しているスクール・サポート・スタッフと、今回のクラス・サポート・スタッフは、兼ねることはできないんですが、切替えはできますので、今入っているスクール・サポート・スタッフをクラス・サポートに替えて新たにスクール・サポート・スタッフを募集するというのも可能ですので、そういった形で、区でも公募をかけますし、東京都の設立したTEPROという東京学校支援機構のほうでも募集をかけていきたいと思っております。

2点目の副校長補佐に関してですが、やはり副校長先生によっては、自分の補助が入ることに抵抗がある方もおまして、自分のペースで仕事がしたいという方もいますが、恐らくこの希望した学校は、副校長先生が、もしかしたら変わるかもしれないというふうな

想定の下に希望した学校が多くございまして。そうすると、はじめて昇任したての副校長先生が来た場合に、やはり苦勞するのではというところで希望したということが、想定ではありますけど、想定されたところでもございます。

それで、今、既に3校入っている学校に関しましては、非常に効果的に活用いただいているということで、助かっているという状況は聞いておりますし、都の方も一応拡大は考えておりますので、今後また募集があったときには増えていく可能性はあると思います。

○垣内委員 ありがとうございます。

ぜひ、すごくいい制度だと思うので、ご活用いただいて、効果を最大限にさせていただければと思います。よろしく申し上げます。

○矢下教育長 ありがとうございます。

そのほかはよろしいですか。

○高森委員 2点ほど質問があります。一つは補正予算額に掲げられた金額ですが、これは全て人件費という理解でよろしいのかどうか。クラス・サポート・スタッフを、1日の勤務条件と配置人員で割って、長期休暇中はどのような扱いになるのか分からないのですが、単純計算で一人当たりの単価を調べたら、時給1,500円弱なのです。副校長補佐の方を計算すると、時給970円くらいなのですけれども、500円くらいの差が出るのですね。これはどういうことなのか、業務の内容が違うのか、単純計算なので、そういった算出の仕方がよくないのか、その辺は分からないのですけれども、そういったことが少し心配なのですが。

要するに、どのくらいの費用でそれぞれのスタッフを呼びかけるかということで、呼びかけの段階で、時給を出した場合、これによって応募者がどれだけ増えるのかなという、ちょっと心配のところがあります。先ほど垣内先生も心配されましたけれども、これ、かなりフルタイムに近いんですよ。1日5時間で週4日くらいの勤務ですから。よほど時間的に余裕がないとなかなか難しい。先ほど課長からは複数の人間で回していくという案もあるということですが、なかなか、募集をかけても集まらないのかなという心配もあるので、その辺を1点伺いたい。腹案があればまた教えていただければと思います。

それから、もう1点は、人材を採用するにあたっての条件がいろいろあるかなと思うのですが、先ほど、教員免許は不要ということになっていましたけど、それ以外にも条件が幾つか必要になるのではないかと思うのです。当然健康状態もありますでしょうし、それから業務内容も守秘義務を持っていたらかなければいけない部分があったり。あるいは、同じ学校の関係者、例えばその学校の保護者になっていいのかどうかということもありますでしょうし。そういった点について、どのようなお考えなのかというのを聞かせていただければと思います。

○指導課長 まずは、報酬の面でもございますが、時給単価ということもございまして、一応まず、クラス・サポート・スタッフの方としては、大体月額10万7,229円に対して、さらに通勤手当、期末手当、社会保険加入料というような形になっております。副校

長補佐の方に関しましては、時給に換算しますと、一応1,570円ということで、月12万5,600円に通勤手当と期末手当ということになりますので、業務内容からしてみると、副校長補佐のほうが報酬としては多いのかなというふうに思っております。

それから、クラス・サポート・スタッフの人材に関しましては、やはり、できれば学校の教育に関心の高い方とか、当然、やはり守秘義務とかそういうようなのは事前に面接等でこちらのほうからしっかり守秘義務を守っていただきたいということはアナウンスしていきます。それから健康上の確認も必ずしていきますので、できれば先ほど言ったように、学校教育の協力を本当に力強い方、それから教員を目指したいという。

残念ながら、今年、採用試験が通らなかったのですが教員を目指したい方とかがいらっしゃれば、そういった方が手を挙げていただくとありがたいなと思っております。

○高森委員 ありがとうございます。最近よく報道等でも聞くのですが、教員を経験された方で、いろいろと不祥事を起こして退職をされている場合に、そういった方々の情報が全国に共有されていないというところがあって、遠方の地域で先生をしていた方が、何か問題を起こして停職・退職したにもかかわらず、他の自治体の学校に来るということも考えられると思うので、そのあたりの追跡も、ぜひ必要であればお願いしたいと思います。

○末廣委員 私もそのクラス・サポート・スタッフ、それから副校長補佐ですね。非常にいい職務だと思います。

今、一般的に応援が非常にあること、負担が重いという、いわゆる時代的にも、そういった公務をしていることに従事しているというふうに言われています。若い人たちが、教員を目指す人が少なくなっているという、そういう状況では、やはりそういうところをどんどんしなきゃいけないんだと思いますが。まず、人材の確保に関しては、今いろいろとお話で出たと思うんですけども、例えば地域の方で、特別に教育に今まで関わっていなかった方でも、教育に関心のある方、そういう方はいずれも、もし希望者が出ていましたら、そういう方も面接の対象になるのかどうか。それから、いわゆる一般企業で定年退職となった方が教育に関して非常に関心があると、そういう方も対象になるのか。その人材の確保が今までのお話で非常に難しいんじゃないかと思っておりますので、結構枠を広げて面接の対象にしていく必要があるんじゃないかというふうに考えます。

それから、副校長補佐は、今までの、事業が始まったばかりですが、この方々が前の経歴はどういう方が実際候補になるのか、もし分かればお教えいただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○指導課長 1点目のクラス・サポート・スタッフでございますが、委員がお話のとおり、地域の方、あるいは一般企業で退職された方でも学校教育に関心がある方で応募いただければ、こちらで面接をした上で学校の方に配置しても問題ないという判断ができれば、任用できるというふうに想定しております。

副校長補佐に関しましては、やはり元学校の校長先生・副校長先生や教員の経験した方もいれば、あとは、都での事務職員などをやっていて、定年退職をして、こういった仕事

に関心があるという方もおります。ただ、副校長補佐に関しましては、全く学校現場を知らないという方になりますと、逆に副校長に負担がかかってしまう可能性もあるので、そのあたりを面接の中で十分に聞き取っているところでございます。

○末廣委員 分かりました。

○高森委員 先ほどの質問を訂正します。副校長補佐の時給単価、私、計算間違いをしまして、今回の補正予算額に相当するのは、対象となっている、加わった6校分のということですね。9校で計算してしまいました。

課長のおっしゃるとおりで、こちらの勘違いでした。失礼いたしました。

○矢下教育長 そのほか、よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、指導課のアについては、協議どおり決定いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

### 3 その他

○矢下教育長 その他、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後2時30分 閉会